

# 第8課 否定的表達：はずがない／わけがない・とは限らない・わけではない・ないことはない・ことは～が

第8課講「否定」的各種程度。日語的否定不只是「不是／不會」這麼簡單：有強烈確信的「絕對不可能」（はずがない），有「未必、不一定」的部分否定（とは限らない），有「並非（你想的那樣）」的局部否定（わけではない），還有用雙重否定來婉轉肯定（ないことはない），以及先承認再轉折（ことは～が）。掌握這組句型，就能把語氣拿捏得更準。

## ■ 今課目標

- 用 ～はずがない／～わけがない 表達強烈確信的「絕對不可能」。
- 用 ～とは限らない 表達「未必、不一定」的部分否定。
- 用 ～わけではない／～のではない 表達「並非（你想的那樣）」。
- 用 ～ないことはない 以雙重否定婉轉地表達「也不是不...」。
- 用 ～ことは～が 先承認某事，再加以轉折或保留。

## 一、～はずがない／～わけがない：絕對不可能

### ■ 強烈確信的否定

～はずがない／～わけがない 表示說話人有很強的把握，斷定「絕對不會、不可能是這樣」。兩者大致可以互換。

### ■ 形式規則

普通形（な形容詞＋な／である・名詞＋の／である）＋ はずがない／わけがない。

## ■ 例句

1. あんなに練習したのだから、負けるはずがない。  
→ 練習了那麼多，不可能會輸。
2. 彼が嘘をつくわけがない。信じているよ。  
→ 他絕不可能說謊，我相信他。
3. この時間に彼が起きているはずがない。  
→ 這個時間他不可能還醒著。
4. そんな高い物が、私に買えるわけがない。  
→ 那麼貴的東西，我怎麼可能買得起。

## 二、～とは限らない：未必、不一定

### ■ 部分否定一個概括

～とは限らない 否定一個「一概而論」的說法，表示「未必如此、不一定是這樣」。常和 みんな、いつも、だれでも、必ず（しも）一起出現。

### ■ 形式規則

普通形（な形容詞＋だ／名詞＋だ）＋ とは限らない。常配 必ずしも、いつも、みんな。

## ■ 例句

1. 高いものが必ずしも質がいいとは限らない。  
→ 貴的東西未必品質就好。
2. 日本人がみんな寿司が好きだとは限らない。  
→ 日本人未必個個都喜歡壽司。
3. 努力すれば必ず成功するとは限らない。  
→ 努力未必一定就會成功。
4. 旅行中にけがをしないとは限らないから、保険に入っておこう。  
→ 旅行時不一定不會受傷，還是買份保險吧。

## 三、～わけではない／～のではない：並非（你想的那樣）

### ■ 局部否定一個推論

～わけではない 用來否定「從情況自然會推出的結論」，意思是「並非全部如此、並不是說一定如此」，只否定其中那一部分，語氣比直接否定委婉。～というわけではない 更柔和；～のではない（口語 ～んじゃない）則用來糾正對方的誤會，「不是...（而是...）」。

### ■ 形式規則

普通形（な形容詞+な／である・名詞+の／である）+ わけではない；普通形 + というわけではない；普通形 + のではない。常配 全部、いつも、必ずしも。

### ■ 例句

1. 毎日運動しているが、やせたいわけではない。  
→ 雖然每天運動，但並不是想減肥。否定那個自然的推論。
2. 日本語が上手でも、漢字が全部読めるわけではない。  
→ 即使日語好，也並非所有漢字都會讀。
3. この仕事が好きというわけではないが、別に嫌いでもない。  
→ 並不是說喜歡這份工作，但也不討厭。
4. 転職するのではありません。会社を辞めるんです。  
→ 我不是要調職，而是要辭職。糾正誤會。

## 四、～ないことはない：也不是不...（雙重否定）

### ■ 用雙重否定婉轉肯定

～ないことはない 是「否定再否定」，等於婉轉、有保留的肯定，意思是「也不是不...（其實可以，只是...）」。常後接「が、...」帶出保留或附帶條件。

### ■ 形式規則

動ない形／イ形容詞-くない／な形容詞-でない／名詞-でない + ことはない。

## ■ 例句

1. ここから駅まで歩けないことはないが、かなり時間がかかる。  
→ 從這裡走到車站也不是不行，只是要走很久。
2. この問題は難しいが、解けないことはない。  
→ 這題雖然難，但也不是解不出。
3. 辛い物は食べないことはないが、あまり得意ではない。  
→ 辣的東西也不是不吃，只是不太擅長。
4. 明日までに終わらせられないことはないが、急がないと。  
→ 明天前要做完也不是做不到，不過得趕一趕。

## 五、～ことは～が：...是...，不過...

### ■ 先承認，再轉折

～ことは～が 先重複同一個詞去承認某件事「確實是這樣」，然後在後半加以轉折或保留。等於「...是...，不過...」。

### ■ 形式規則

動詞・形容詞普通形（な形容詞+な）＋ ことは ＋ 同一個詞（普通形／丁寧形）＋ が。

## ■ 例句

1. その本は読んだことは読んだが、内容をよく覚えていない。  
→ 那本書我是看過，不過內容不太記得了。
2. 泳げることは泳げるが、長い距離はだめなんです。  
→ 游是會游，不過長距離就不行。
3. この本は高いことは高いが、写真が多くて楽しめそうだ。  
→ 這本書貴是貴，不過圖片多，應該幾好睇。
4. 子育ては大変なことは大変だが、成長が楽しみだ。  
→ 養小孩辛苦是辛苦，不過看著他成長很開心。

## 六、常見錯誤與總整理

### ■ 常見錯誤

- **X** 全部の漢字が読めるではない。  
○ **全部の漢字が読めるわけではない。**  
部分否定要用 わけではない，不能直接加 ではない。
- **X** 高いものが必ず質がいいわけがない。  
○ **高いものが必ずしも質がいいとは限らない。**  
「未必、不一定」用 とは限らない；わけがない 是「絶対不可能」，語氣太強。
- **X** 歩けないことはない。だから歩きたくない。  
○ **歩けないことはないが、時間がかかる。**  
ないことはない 是「有保留的肯定」，後面多接 が+保留條件，不是純粹否定。
- **X** 読むことは読むが、覚えていない。(已讀完)  
○ **読んだことは読んだが、覚えていない。**  
ことは～が 要重複同一個詞，且時態要一致（已做完用た形）。
- **X** 転職するわけではありません。会社を辞めるんです。  
○ **転職するのではありません。会社を辞めるんです。**  
糾正對方的誤會「不是 A，而是 B」時，用 ～のではない 更貼切。

自己輸出：用本課句型寫三句。一句用 とは限らない（破除一個成見），一句用 ないことはない（有保留的肯定），一句用 ことは～が（先承認再轉折）。

---

---

---

---

---